

2015春闘要求 第2回団体交渉

羽田定額・成田定額・TDR定額は メーター料金で賃金計算を行うことを要求!

2015年3月3日(火) 11時から、101号室において、第2回団体交渉を行いました。

経営側からは山岡取締役、仲取締役、伊藤部長、深沢次長、組合側からは菊池執行委員長をはじめ、執行部7名が出席しました。

はじめに、菊池執行委員長より経営側へ「東洋交通では労働者負担の撤廃など、既に解決しているものもありますが、他のグループの各社では、まだ実現できていないところも多くあります。特に車両代替については、お客様に約束した日本交通の品質サービスの一部でもあるので、きちんと守って頂くようお願いいたします。」と日本交通グループ連絡協議会の統一要求書が手渡されました。

(組合側)
単組の要求については、一昨年度賃金改定をしたばかりで、足切りの部分は難しいと思います。しかし、特別配分のランクを設けることについては『頑張った者が報われる賃金』に変わり、この1年で実績も上がってきたと思います。是非、設けていただきたいです。

(経営側)
能率給の足切りを下げることに關しては、一昨年、45,000円を頑張った人にといいことでの賃金改定を行ったので、それを下げるといふのはナンセンスな要求です。むしろ、もつと上を目指して頂きたいです。

特別配分7,500kmについては、設けても良いランクだと前向きに考えています。

(組合側)
残業問題については、KMさんで裁判を起し問題になったように、東洋交通の能

率給から残業代を引くシステムは決して正しい方法ではないと考えております。今後、検討の余地はあると思います。以前の要求は4,000円から2,000円に減額するという内容でしたが、計算をしてみると不可能なので、今回は500円でも250円でも、できる限り今より減額という要求に変えています。ご検討をお願いいたします。

(経営側)
残業時の腰高は、1000円単位で細かく計算して、どれだけ原資が出るのかを調べる必要があります。しかし、残業は全ての乗務員に課せられているものではありません。現状、腰高を下げるというのは難しいです。

(組合側)
羽田定額の問題ですが、品川線が開通し、新料金を見るとかなり安くなっている所もあります。しかし、乗務員はメーター料金で売上を立てています。活性化は推進されていますが、適性化が進んでいない中、労働している乗務員には対価を払って頂きたいと思えます。

(経営側)
品川線の開通で料金が改定され、料金が下がった所もあります。距離が短くなったことで効率も良くなり、今後利用者も増えていくと思えます。羽田定額はお客様利便のために、活性化として行っているサービスです。会社も燃料代を負担して割引分は減収です。メーター料金で賃金計算するのは現状難しいです。

(組合側)
今まで通常メーターで羽田空港へ行っていたお客様が定額に切り替えただけで、実際にお客様の数が増えたわけではありませぬ。羽田定額の場合、早朝の時間指定配車や飛行機の遅れなどで1時間待機しても定額料金しか頂けません。売上で賃金計算を

している乗務員に対する補償はないのですか？売上で賃金計算ができないとしても、乗務員が嫌がらずに仕事ができるように、何か事業者側から提案をして頂きたいと思えます。

(経営側)
会社によっては定額サービスを導入してないところもありますが、当社は日本交通グループとして、同一の運賃を頂かなければなりません。同じ日本交通グループとしてサービスを行わなければ、お客様も混乱してしまいます。乗務員の負担が大きいことは理解しています。経営側も乗務員が嫌がらずに仕事ができたら良いとは考えています。

(組合側)
無線の空転については、経営側はすぐに空転になったものは問題ないと思っております。迎車ボタンを押した時点から、既に他のお客様をお乗せできないという事は、労働の一部であると考えます。全ての迎車料金を含め営収に取り入れる方式にしたいです。

(経営側)
スマホ配車の件数も伸びている中、全ての迎車(空転)を営収に入れるということは現状困難です。

(組合側)
首都高の帰路料金については、特に東名・中央道からの接続の利用が多いので、都心までを負担して頂くことで、仕事の効率を上げます。効率が良いということは、売上に貢献し、会社にもプラスになることなので、是非検討して頂きたいと思えます。

(経営側)
首都高を全額会社負担にしたら、利用者も増えます。全部出したら経営が難しいです。営業圏内までは出しています。現行通りでお願いします。

(組合側)
スタッドレスタイヤは、今年は数を多く揃えて頂いています。国土交通省からも通達が出ているので、シーズンでの装着を

お願いします。

(経営側)
4輪装着にしたことで、新品タイヤの減りも多くなっています。その年によって気候が違いますが、今年のようにあまり雪が降らない状態で3月までスタッドレスを装着しているのは逆に危険です。

(組合側)
3割減車については、東洋交通では既に2割の減車を行っているのです。他社にも呼びかけて頂き、事業者間でも平等に減車を行うようにして頂きたいと思えます。

(経営側)
検討します。

次回、第3回団体交渉は3月20日(金)に行います。

